

## Ⅱ 調査結果

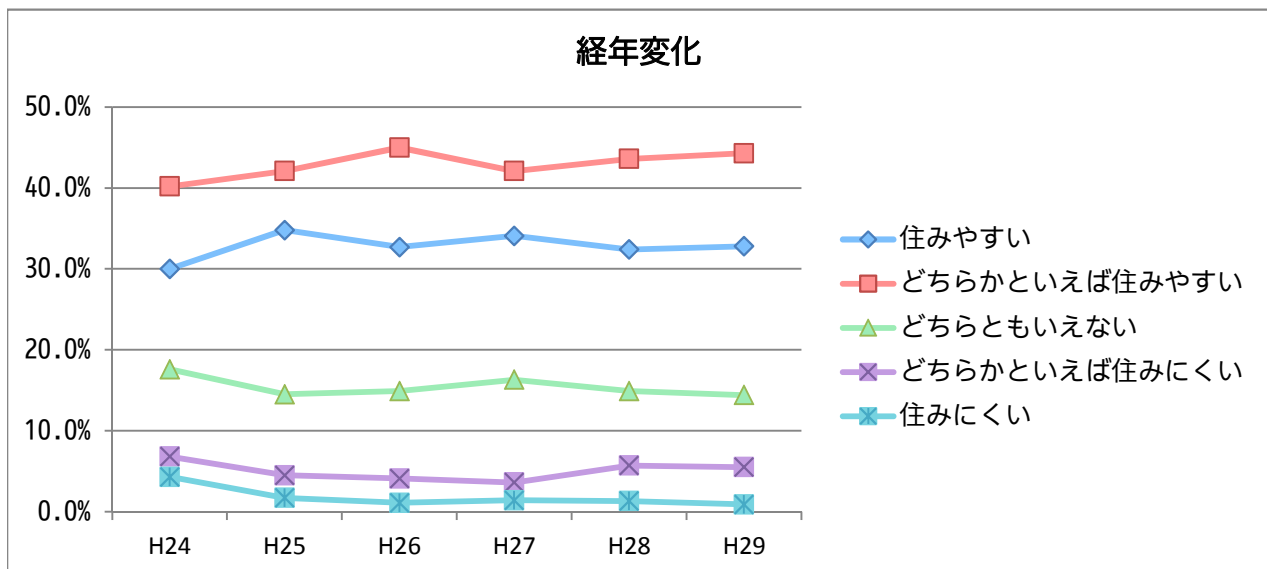
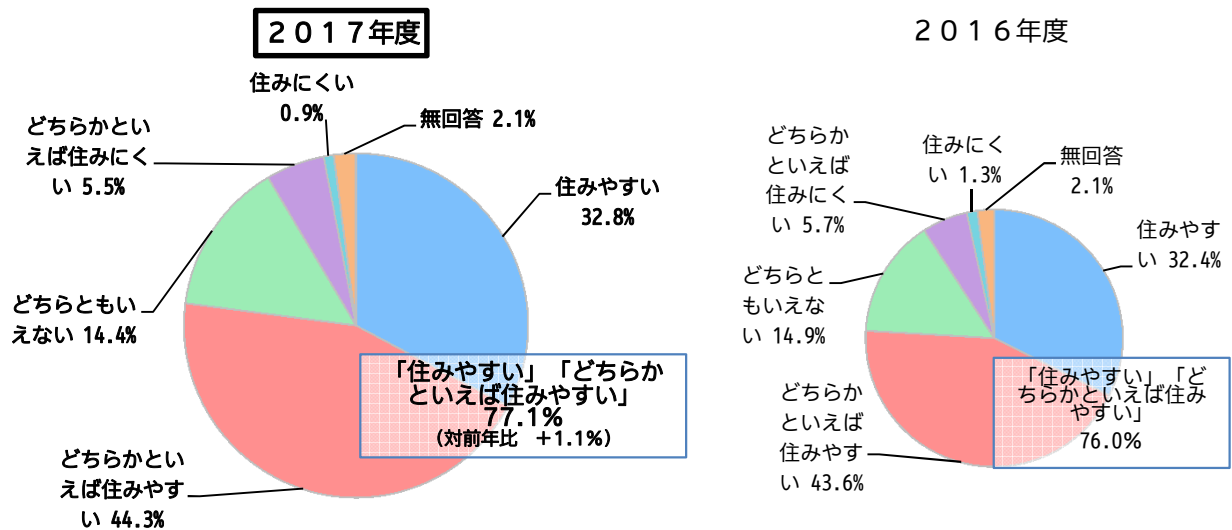
### 1 まとめ

#### (1) まちの住み心地について

本市は、「住みやすく」、これからも「住み続けたい」まちです。

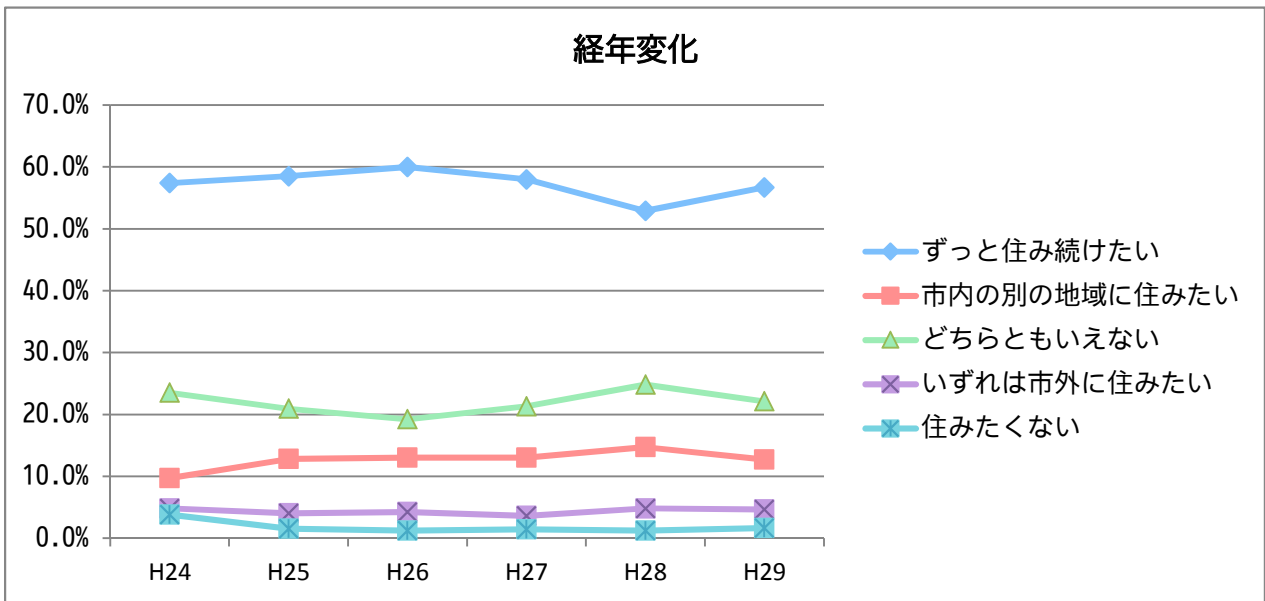
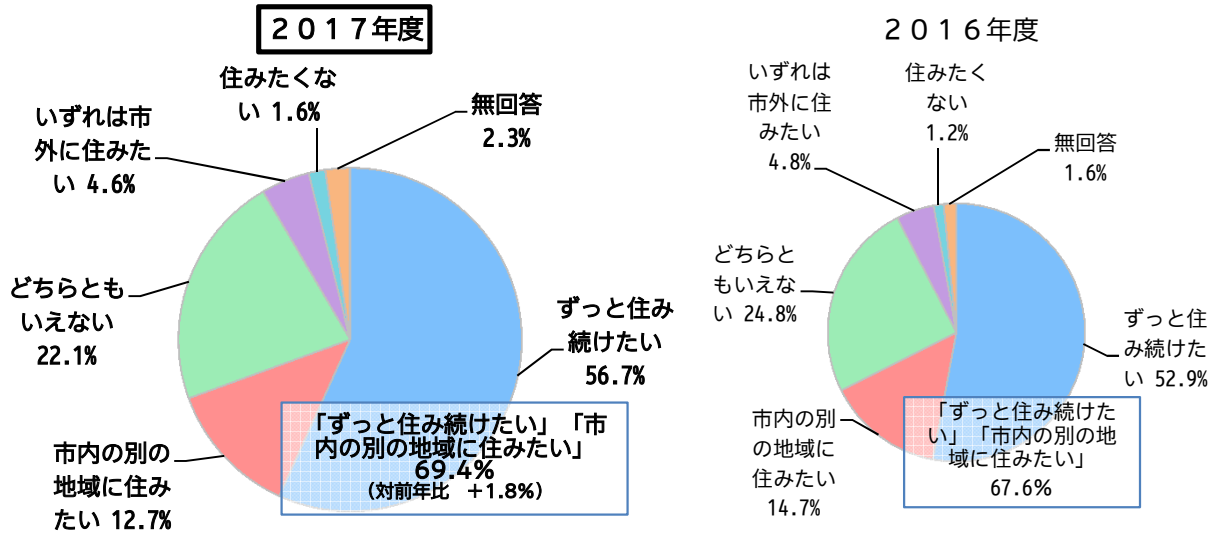
#### 《住みやすいまちですか》

郡山市が住みやすいかをたずねたところ、「住みやすい」は32.8%で、「どちらかといえば住みやすい」の44.3%と合わせると77.1%と、約8割の方が郡山市は「住みやすい」まちと思っています。



《今後も住みたいですか》

郡山市に今後も住みたいかをたずねたところ、「ずっと住みたい」は56.7%で、「市内の別の地域に住みたい」の12.7%を合わせると69.4%と、約7割の方が郡山市に「住みたい」と思っています。



【まちの住み心地に寄せられた主な意見】

- ・郡山市に35年前に移り住みましたが、やはり都市機能が充実しており住みやすい所だと思います。(40代・女性)
- ・郡山市は住みやすい地域だと思っています。行政の方は様々な問題に対応され、大変かと思いますが、期待しています。(40代・女性)
- ・郡山の環境が気に入り、永住することにしました。自然が多く、温泉も近くにあり、郡山市は住みやすいと思います。(70歳以上・男性)
- ・郡山は首都圏からも近く、交通にも恵まれており、学校や病院も多く、ほどよい田舎で生活はしやすいと思う。(50代・女性)
- ・郡山市の住みづらいところは、道路がいつも渋滞していることです。(30代・女性)
- ・若い人にとって、住みづらい。楽しくないし、地域イベントも高齢者や小学生や中学生メインのイベントしかなく、10代後半～20代が楽しめない。(10代・女性)

(2) まちづくりについて【満足度】

現在のまちづくりに対する満足度については、分野別（2ページ）に見ると、市民生活の基礎となる「教育」「文化」「保健」「原子力災害対策」が上位となっています。

郡山市が進めているまちづくりについて、43項目（2ページ）をあげて満足度をたずねたところ、「広聴広報」「音楽都市こおりやま」「医療」「生涯学習」「健康管理」「生活衛生」など、市民生活の基礎となる項目が上位を占めています。  
 また、「除染」（3位←4位）や「自然環境」（8位←11位）「歴史・文化芸術」（9位←10位）が順位を上げています。

【2017年度】

順位	前年度順	分野	項目	
1位	(1位)	I 市民協働・人権・行政経営	広聴広報	→
2位	(2位)	II 教育・文化・スポーツ・交流	音楽都市こおりやま	→
3位	(4位)	VII 原子力災害対策・復興	除染	↑
4位	(3位)	III 子育て・福祉・保健	医療	↓
5位	(9位)	II 教育・文化・スポーツ・交流	生涯学習	↑
6位	(7位)	VII 原子力災害対策・復興	健康管理	↑
7位	(5位)	IV 新エネルギー・環境	住環境	↓
8位	(11位)	IV 新エネルギー・環境	自然環境	↑
9位	(10位)	II 教育・文化・スポーツ・交流	歴史・文化芸術	↑
10位	(8位)	III 子育て・福祉・保健	生活衛生	↓

【2016年度】

順位	分野	項目
1位	I 市民協働・人権・行政経営	広聴広報
2位	II 教育・文化・スポーツ・交流	音楽都市こおりやま
3位	III 子育て・福祉・保健	医療
4位	VII 原子力災害対策・復興	除染
5位	III 子育て・福祉・保健	健康づくり
5位	IV 新エネルギー・環境	住環境
7位	VII 原子力災害対策・復興	健康管理
8位	III 子育て・福祉・保健	生活衛生
9位	II 教育・文化・スポーツ・交流	生涯学習
10位	II 教育・文化・スポーツ・交流	歴史・文化芸術



(3) これからの取り組みについて【重要度】

これから重点的に取り組んでほしい分野（2ページ）は、市民生活に密着している「福祉」「教育」「子育て」「雇用」「都市計画」が上位となっています。

郡山市が進めているまちづくり43項目（2ページ）について、重要度をたずねたところ、「高齢者福祉」「子育て」「学校教育」「医療」など、市民生活に密着した項目が上位を占めています。

また、「産業創出」（5位←6位）や「交通・道路」（7位←8位）が順位を上げ、「風評の払しょく」（10位←16位）も大きく順位を上げています。

【2017年度】

順位	前年度順	分野	項目	
1位	(1位)	Ⅲ 子育て・福祉・保健	高齢者福祉	→
2位	(3位)	Ⅲ 子育て・福祉・保健	子育て	→
3位	(2位)	Ⅱ 教育・文化・スポーツ・交流	学校教育	→
4位	(4位)	Ⅲ 子育て・福祉・保健	医療	→
5位	(6位)	V 産業・観光・雇用	産業創出	→
6位	(5位)	V 産業・観光・雇用	雇用促進	→
7位	(8位)	Ⅵ 都市計画・交通・防災	交通・道路	→
8位	(7位)	Ⅵ 都市計画・交通・防災	計画的なまちづくり	→
9位	(9位)	Ⅵ 都市計画・交通・防災	防犯・交通安全・消費者対策	→
10位	(16位)	Ⅶ 原子力災害対策・復興	風評の払しょく	↑

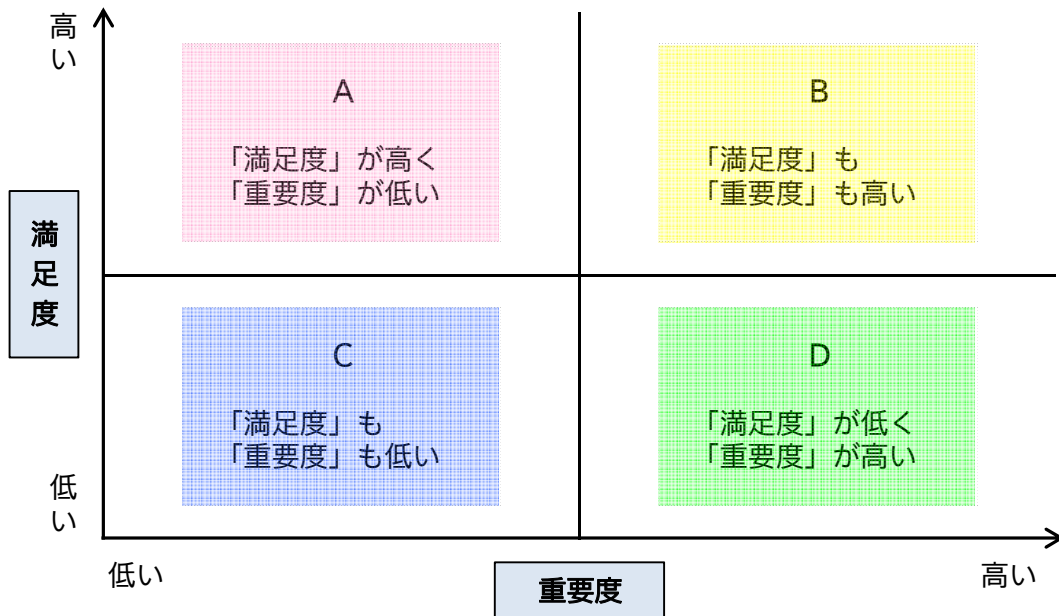
【2016年度】

順位	分野	項目
1位	Ⅲ 子育て・福祉・保健	高齢者福祉
2位	Ⅱ 教育・文化・スポーツ・交流	学校教育
3位	Ⅲ 子育て・福祉・保健	子育て
4位	Ⅲ 子育て・福祉・保健	医療
5位	V 産業・観光・雇用	雇用促進
6位	V 産業・観光・雇用	産業創出
7位	Ⅵ 都市計画・交通・防災	計画的なまちづくり
8位	Ⅵ 都市計画・交通・防災	交通・道路
9位	Ⅵ 都市計画・交通・防災	防犯・交通安全・消費者対策
10位	Ⅶ 原子力災害対策・復興	健康管理



## 《満足度と重要度の散布図》

本市のまちづくり（取り組み）における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「重要度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重要度」の数値を散布図に示しました。「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



- A： 維持領域  
重要度は低いが満足度が高い取り組みは、現状を維持していく項目
- B： 重要維持領域  
重要度が高く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目
- C： 要検討領域  
重要度も満足度も低い取り組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目
- D： 重要改善領域  
重要度が高いが満足度が低いため、現在のやり方を変え満足度を高めていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重要度が高い低いということとなります。

施策別散布図

